説明的文章　指示語の内容の捉え方

ガゼル、ヌー、シカ、トナカイなどの※反芻動物は、割合おとなしく、なかにはいくぶん敏捷さに欠けるものがいるにもかかわらず、なぜ肉食獣によって絶滅させられることなく、この地球上で繁栄しつづけてきたのだろうか。

　これは深遠な問題で、かんたんに答えられるものではないが、①かれらは何か生きるうえでたいへん有利な点をもっていたにちがいない。

　まず考えられることは、かれらの逃げ足の敏捷さとか群をつくっての防衛であるが、もう一つ草を主食にしてきたことをあげることができる。草は地球上いたるところに繁茂していて、その量が多いうえに繁殖力も高い。

　つぎに、かれらの胃袋がたいへん大きいことである。瘤胃といって四つの部屋に分かれており、食道に一番近い部屋を第一胃、つづいて第二胃、第三胃、第四胃とつづいて腸にいたる。とりわけ第一胃は特別に大きくて、ウシでは約二〇〇リットル、ヒトの赤ん坊が二人は入る。この胃はルーメンという名で呼ばれ、②ここにたくさんの草をためこんでいる。

　しかもかれらは、草をつくっている物質のなかでもっとも量の多いセルロースを消化できる。③このことはかれらが生きつづけるうえでたいへん有利にはたらいた。反芻動物は肉食獣の餌食になっても、それを補うに十分な子供が産めるほど、食に恵まれているのである。

（栗原康『共生の生態学』岩波書店　による）

※反芻動物＝一度のみこんだ食物を口に戻してかみ直す動物。

指示語の読み取り

説明的文章では、言葉や内容の繰り返しを避けるために**指示語**がよく使われる。指示語が表す内容は、次のようにして捉えるとよい。

①指示語を含む文に注目し、指示語の内容を押さえる。

②指示語が指す内容を探す。

・多くの場合、指示語の指す内容は指示語の前にある。

（例）私には大事にしている宝物がある。それは祖父からもらった時計だ。

・後に続く内容を指す場合もあるので注意する。

③探した内容を指示語に当てはめて、意味が通じるか確かめる。

（例）（私が）大事にしている宝物は祖父からもらった時計だ。

例題

——線部「これ」が指す内容として適当なものを選びなさい。

ア ガゼルやヌーといった反芻動物は割合おとなしい性質の動物で、なかには敏捷さに欠ける種もいること。

イ 反芻動物はおとなしく、敏捷さに欠ける種もいるのに、なぜ肉食獣に絶滅させられずに繁栄しているのかということ。

ウ おとなしい反芻動物が繁栄しているのは、かれらが生きるうえでたいへん有利な特徴（とくちょう）をもつことに要因があること。

〔　　〕

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ——線①「かれら」が指すものを選びなさい。

ア 反芻動物　**イ** 肉食獣　**ウ** ヒト

〔　　〕

(2) ——線②「ここ」が指すものを選びなさい。

ア 瘤胃　**イ** 食道　**ウ** 第一胃
エ 第二胃　**オ** 第三胃　**カ** 第四胃

〔　　〕

(3) ——線③「このこと」が指す内容を、解答欄（かいとうらん）に合うように本文中から三十字以上、三十五字以内で探し、最初と最後の五字を答えなさい。

□□□□□〜□□□□□こと。